

会議の名称	桶川市立加納小学校 第3回学校運営協議会	
開催日時	令和8年10月2日（金） （開会）10：00 （閉会）12：00	
開催場所	桶川市立加納小学校 会議室	
出席者氏名 （委員）	閑野 千鶴 委員 杉本 洋一 委員 野澤 秋穂 委員 石田 松夫 委員 五味 雅人 委員 古舘ひより 委員 PTA会長 秋久 文彦 松尾 美樹 委員 野手 隆志 委員 校長 西納 聡	
欠席者氏名 （委員）	神谷 江美子 委員 大川 泉 委員	
傍聴者	柳田 篤史 主席主幹	
議題	1 情報提供 （1）学校評価の視点について （2）全国学調、県学調の結果について 2 熟議 （1）加納地区（旧加納こどもサッカークラブ）よりご寄付について （2）児童の登校時刻について （3）市内CSより要望書について 3 授業参観 4 懇談	
協議等 要 旨	→協議結果	・意見の概要
	（1）加納地区（旧加納こどもサッカークラブ）よりご寄付について ①寄付の意図を踏まえて、学校としては物品（大型スクリーン、プロジェクター、サッカーボール）として寄付を頂きたいと考えている。 →学校の裁量で物品を購入することを承認いただいた。 （2）児童の登校時刻について ①登校時刻（7:55以降）への変更を考えている。 ・登校時刻や教職員の勤務開始時刻を理解していない家庭が一定数ある。 ・登校後に高学年児童や保護者が主体となって活動することがあってもよい。 ・近隣市町村は、より遅い時刻に設定している箇所もある。 →登校時刻の変更を承認いただいた。但し、学校からの周知の徹底が必要。 ②日課表（朝モジュール、週当たりのコマ数の1減、10分間の下校時刻繰り下げ）の変更を考えている。 →学校の裁量内の変更を了承いただいた。 （3）市内CSより要望書について ①環境整備に関する人材配置を市内CSの総意として、桶川市に要望したい。 ・用務員を雇用しなくなった経緯が不明 ・加納小では、環境ボランティアの一層の活用も可能ではないか。地域に対する広報活動を行うことで参加人数が増えるのではないか。	

	・市の財政的に可能なのか。勤務時間を短くすることや市内での兼任も一案ではないか。 ・教職員の本来の業務以外に関して、人材の雇用や配置はあった方がよい。 →加納小C Sも要望書の内容及び提出に承認いただいた。但し、校内の環境ボランティア広報活動も推進するとよい。 ②環境ボランティアに関する情報の周知方法について ・加納地区の回覧物の一つに環境ボランティアに関する文書を依頼する等 →今後検討をしていく。 懇談での意見等 ・学校主体での取組が推進されている。長所短所があると感じる。 ・2030年の通学路の無電柱化計画を踏まえ、通学路の見直しが必要か。 ・プレボランティア化によって各活動への参加率は減少している。P T Aからの情報発信の重要性を感じている。 ・用務員が雇用された場合であっても大掛かりな設備修繕は難しいと感じる。 ・児童がのびのびと学んでいた。教員が授業等の教育活動に集中するためにも協力していきたい。そのためにも、情報を発信する側、受け取る側双方の工夫や意識改革が必要。 ・児童にとって教室は家庭に次ぐ居場所である。知っている人の参観は児童にとってもよい影響を与える。ボランティア活動の際に参観できるようにすれば、参加率を高める材料になる。 ・立ち上げ当初と比較しC Sが充実し機能してきている。一層の深化をしていきたい。
配付資料	(1) 令和7年度学校評価結果報告書 (2) R8 全国学力・学習状況調査の概要、R8 埼玉県学力・学習状況調査の概要 (3) 時程変更に関する提案資料 (4) 学校用務員の要望書に関する資料 (5) 令和8年度埼玉県「コミュニティ・スクール×地域学校協働活動推進フォーラム」の開催について